



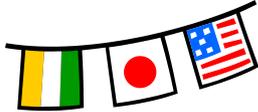
神内小だより

笠岡市立神内小学校 学校だより
令和元年5月24日 No.2

【学校教育目標】

あたたかい心と確かな力を育てる

- 進んで学ぶ子
- 思いやりのある子
- 元気な子



令和最初の運動会、大成功！



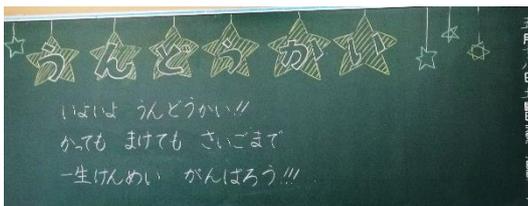
5月18日（土）に開催した令和元年度の運動会では、多くの方にご観覧いただき、ありがとうございました。子どもたちは、今年のテーマである「勝っても負けても全力をつくす 元気な運動会」を実現させるため、力を合わせてがんばりました。たびたび吹く強風にも負けず、力いっぱい演技をする子どもたちの姿に何度も胸が熱くなりました。

そんなすばらしい演技ができたのは、保護者や地域の皆様の温かいご声援や拍手があったことはもちろんですが、当日までの練習の積み重ねがあったからです。今回は、運動会前後の子どもたちの様子を紹介させていただきます。

運動会の成功をめざして！

子どもたちが、いちばん時間をかけて練習したのは、表現種目。下学年は「神内ソーラン」、上学年は組体操「神島の誇り」です。どちらも、はじめからうまくできたわけではありません。まずは、動きを覚えるところから。難しいポーズや力のいる大変な技などを一つずつ練習していきます。運動会を成功させるという大きなめあてに向けて、一時間ごとの細かいめあてを達成しながら仕上げていくのです。その中で、友だちとの協力の仕方も学びます。

運動会前日、最後の練習です。翌日の本番に向けて、全体の流れや動きの最終確認をする子どもたちも先生も気合い十分です。



当日の朝には、どの教室の黒板にも、担任から子どもたちへのメッセージが書かれていました。それを読んだ子どもたちは、やる気満々の顔で運動場に出て行きます。そして、積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮して、閉会式まで全力でがんばりました。

それから今週、1年生の教室では、運動会を振り返って、一人一人が心に残った場面を絵に表していました。絵の中の子どもの顔は、小学校で初めての運動会をがんばった満足感で、みんな輝いています。



運動会の練習を通して、子どもたちに、「めあてに向かってがんばる力」「難しいことにもねばり強く取り組む力」「友だちのことを思いやる心」が育ってきているのを感じる場面がたくさんありました。これらを今後の学習や活動に生かし、学校生活を充実させられるよう、わたしたち教職員も力を合わせて日々の教育活動に取り組んでいきたいと思ひます。

☆後日配布予定の笠岡東中ブロック連携通信にも運動会の記事を載せていますので、合わせてお読みください。